

「2011年3月期 第3四半期 決算説明コンファレンスコール」 質疑応答

Q1)第4四半期の営業利益について売上原価率や販管費の面から解説してください。

A1)政策的な生産の前倒しを含めて生産が上半期から第3四半期まで継続したため、第3四半期末の棚卸資産が期初に比べて増加しています。第4四半期からは生産調整に入るため売上原価率がアップすると予想しています。また、例年通り年度末に経費が増加する傾向から第4四半期は販管費が増加します。

Q2)来期の国内金融機関市場の売上についてどのように見込んでいますか。

A2)オープン出納システムについては既存機の更新需要やコンパクトタイプの新規導入が期待できます。また、窓口用紙幣・硬貨入出金機も導入機が更新時期を迎えているため引き続き需要が継続すると予想しています。

Q3)新製品であるUWH-1000の収益性と来期の売上見込みについて教えてください。

A3)採算は非常によい製品です。銀行の店舗ではなく現金処理センター向けの製品ですので、台数としては、来年度は2桁程度とみています。

Q4)国内金融機関市場の売上が、計画対比で第3四半期は厳しく、第4四半期に増加する要因は？

A4)オープン出納システムの導入が既存機・コンパクトタイプともに、3月に集中するためです。

Q5)遊技市場の立て直しについて、新たに戦略があれば教えてください。

A5)今年の4月1日に連結子会社であるグローリーナスカ株式会社とクリエーションカード株式会社の統合を予定しています。北陸や四国に新たに拠点を設けるなど、営業員を緻密に配置し、顧客需要を確実に捉えるとともに、製品の優位性を上げてさらなる売上拡大を目指します。